

エコアクション21 環境経営レポート

— 2020年度版 —

(2020年6月～2021年5月)

2021年10月31日 第10版

野坂建設株式会社

【目次】

1. 組織の概要	1
1) 事業者名及び代表者名	1
2) 所在地	1
3) 環境責任者及び事務局	1
4) 連絡先	1
5) 事業活動の内容	1
6) 法人設立年月日	1
7) 資本金	1
8) 事業規模	2
9) EA21推進組織図	3
10) 許可の概要	3
11) 施設等の状況	4
12) 料金の提示方法	5
2. 対象範囲(認証登録範囲)	5
1) 対象組織	5
2) 対象活動	5
3. 環境経営方針	6
4. 環境経営目標	7
5. 環境経営計画	8
6. 環境経営目標実績	9
7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟等の有無	13
8. 代表者による全体評価と見直し結果	14

1. 組織の概要

1) 事業者名及び代表者名

野坂建設株式会社

代表取締役社長 野坂 輝和

2) 所在地

本社 〒808-0144 福岡県北九州市若松区高須東三丁目6番9号

水巻支店 〒807-0031 福岡県遠賀郡水巻町杵2丁目1番13号

ゆめ環境 〒811-4342 福岡県遠賀郡遠賀町大字尾崎1712-45

3) 環境管理責任者及び事務局

EA21責任者： 未来デザイン室 渡辺 美穂子

EA21事務局： 総務部 川元 恭子

4) 連絡先

連絡担当者： 川元 恭子

T E L： 093-701-5216

F A X： 093-701-5266

E-mail： nosaka1@cronos.ocn.ne.jp

5) 事業活動の内容

- ・土木工事業
- ・建築工事業
- ・舗装工事業
- ・とび土工事業
- ・解体工事業
- ・水道施設工事業
- ・産業廃棄物処理業
- ・一般廃棄物処理業
- ・土壌改良材生産販売(現在は、生産・販売休止中)

U R L： <http://www.nosakakensetsu.co.jp>

6) 法人設立年月日

1973年 4月 2日

7) 資本金

4,000万円

8)事業規模

単位:百万円(税抜)

項目	単位	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
売上高	百万円	335	227	352	295	345	274	250
従業員数	人	11	12	14	15	15	16	16

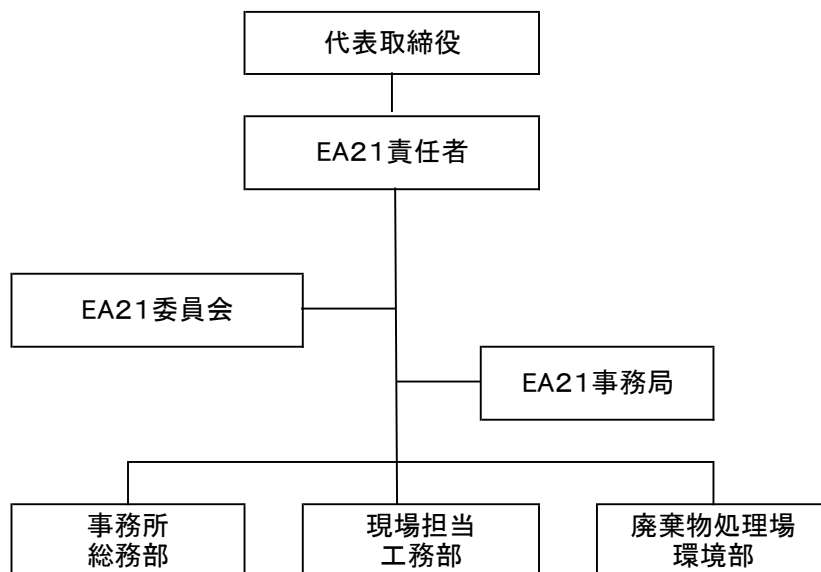
注)事業年度 6月～翌年5月

— 2020年度 — <受託した廃棄物の処理量>

処理方法等	廃棄物等種類	処分方法等	2017年度 処理量t	2018年度 処理量t	2019年度 処理量t	2020年度 処理量t	
収集運搬	(木くず)		0.0	0.0	0.0	2.99	
	(小枝・樹木)		0.0	0.0	0.0	0.0	
	(根株)		0.0	0.0	0.0	0.0	
収集運搬量合計			0.0	0.0	0.0	2.99	
※1 中間処理	(木くず)	(破碎)	1,975	1,855	2,391	2,809	
	(草・小枝)	(破碎)	3,021	3,759	3,810	4,762	
	(樹木)	(破碎)	564	434	469	718	
	(竹)	(破碎)	135	156	320	265	
	(根株)	(破碎)	266	157	153	213	
※1 うち再資源化等	(木くず)	(破碎)	1,975	1,855	2,391	2,809	
	(草・小枝)	(破碎)	3,021	3,759	3,810	4,762	
	(樹木)	(破碎)	564	434	469	718	
	(竹)	(破碎)	135	156	320	265	
	(根株)	(破碎)	266	157	153	213	
	再資源化等小計			5,961	6,361	7,143	8,767
中間処理合計			5,961	6,361	7,143	8,767	
最終処分	(がれき類)	(安定型最終処分場)	0	0	0	0	
最終処分量合計			0	0	0	0	
中間処理後の 産業廃棄物	最終処分	(燃え殻)	(管理型最終処分場 (委託))	0	0	0	0
	再資源化等	(木くず・樹木・竹・根株)	(発電燃料として再生利用(売却))				
		(草・小枝)	(破碎・土壌改良材製造用チップ)				
	再資源化等量小計			0	0	0	0
中間処理後処分量合計			0	0	0	0	

※1 一般廃棄物の中間処理も含む

9)EA21推進組織図



10)許可の概要

・土木・とび土工・舗装・水道布設工事業・解体工事業

福岡県知事許可 許可番号 (特-29) 第25068号
(2017年 8月 4日許可 有効年月日 2022年 8月 3日)

・建築工事業

福岡県知事許可 許可番号 (特-1) 第25068号
(2019年10月11日許可 有効年月日 2024年10月10日)

・産業廃棄物許可

産業廃棄物処理施設設置許可(2017年 3月 8日許可)

福岡県 許可番号 第608号

事業範囲 中間処理(破碎(移動式も含む)) 木くず

産業廃棄物処分業許可

福岡県 (2015年10月 7日許可 有効年月日 2022年10月 6日)

許可番号 第4020058381号

事業範囲 中間処理(破碎(移動式も含む)) 木くず

・一般廃棄物許可

一般廃棄物処理施設設置許可(2005年 8月26日許可)

福岡県 許可番号 第7号

一般廃棄物処分業許可

遠賀・中間地域広域行政事務組合

(2019年 6月 1日許可 有効年月日 2021年 5月31日)

遠賀中間地域広域行政事務組合 許可番号 第7号

事業範囲 中間処理(破碎(移動式も含む))剪定枝・伐採材・草・竹・根株

・産業廃棄物収集運搬許可

産業廃棄物収集運搬許可(2016年12月26日許可 有効年月日2021年12月25日)

福岡県 許可番号 第4000058381号

事業範囲 廃プラスチック類(自動車等破砕物を除く)・金属くずガラスくず等
(自動車等破砕物を除く)・紙くず・木くず・がれき類
(廃プラスチック類、紙くず、木くず、ガラスくず等、がれき類に
ついては石綿含有産業廃棄物も含む)

・土壌改良材許可

肥料販売業務開始許可 (2002年 7月19日許可)

福岡県 許可番号 第2160号

特殊肥料生産業者許可 (2003年 9月17日許可)

福岡県 許可番号 第4920号

11)施設等の状況

・運搬車両

2tダンプ 2台

・建設機械

油圧ショベル 0.7m³級 2台

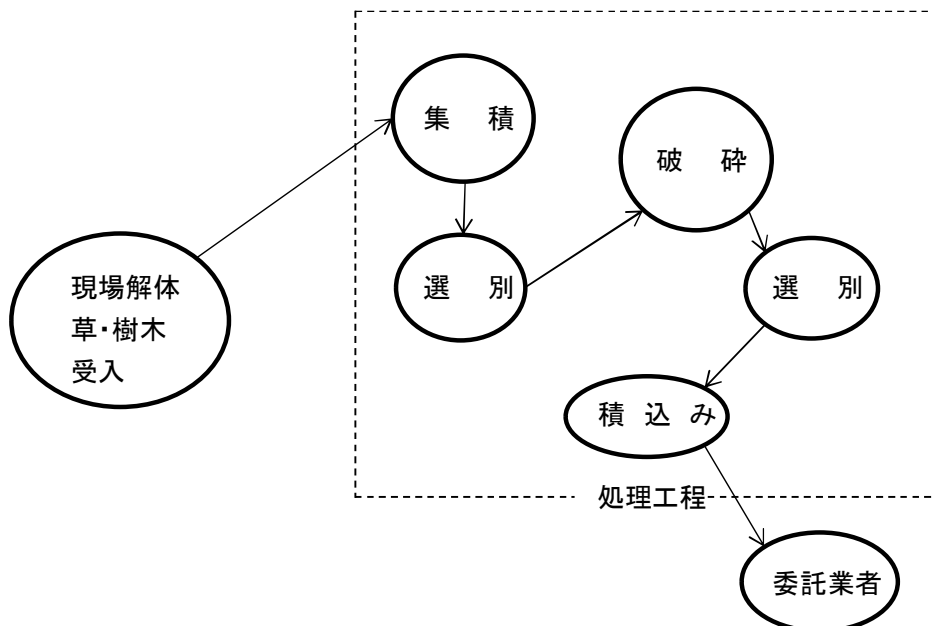
油圧ショベル 0.4m³級 1台

油圧ショベル 0.1m³級 1台

・中間処理施設(処理方式 破砕)

種類	木くず	草	樹木	竹	根株
処理能力	破砕機		353t/日		1台

<処理工程図>



12) 料金の揭示方法

- ・建設工事業 土木工事業
個別見積による(見積料は無料)

- ・廃棄物処理料金

2020年6月1日現在

区分	種類	形状寸法	単位	料金
産業廃棄物	木くず 解体材 型 枠 パレット	柱・梁	kg	12円
		タルキ		
		胴縁		
		バン板		
		型枠		
	マクラ木	kg	25円	
	電 柱	kg	20円	
焼け木	kg	20円		
一般廃棄物	草		kg	21円
	樹木の小枝	直径10cm未満	kg	15円
	樹木	直径10cm以上	kg	18円
	竹		kg	18円
	根株		kg	24円

2. 対象範囲(認証・登録範囲)

1) 対象組織

野坂建設株式会社 本 社 : 〒808-0144 北九州市若松区高須東三丁目6番9号
 ゆめ環境 : 〒811-4342 福岡県遠賀郡遠賀町大字尾崎1712—45
 水巻支店 : 〒807-0031 福岡県遠賀郡水巻町帆2丁目1番13号

2) 対象活動

土木工事業、とび・土工工事業、舗装工事業、水道施設工事業、建築工事業、
 産業廃棄物・一般廃棄物処理業(中間処理)、土壌改良材生産・販売

3. 環境経営方針

環境経営方針

【環境理念】

私達は、自社の付加価値を発揮した事業活動を通じ、ステークホルダーに対して地球環境にやさしい暮らし方の提案を行い、未来のうつくしい地球環境を創造します。

【行動指針】

1. やさしくうつくしい住環境を創る

- ・自然共生の住宅等インフラ整備
- ・木質資源の有効活用の研究開発
- ・持続可能な都市（環境）づくりの推進

2. やさしくうつくしい自然を守る

- ・事業活動に必要な水、エネルギー資源の省力化
- ・事業活動に伴い排出される廃棄物抑制・環境配慮型商品の採用
- ・関連する環境法規・条例及び当社が定めたその他の事項を厳守

3. やさしくうつくしい繋がりを深める

- ・環境啓発イベントの開催と地域ボランティアへの参画
- ・ステークホルダーへの感謝とさらなる連携強化
- ・自然災害など有事に対する対応の円滑化

4. やさしくうつくしい職場を作る

- ・自らのいきがいとお客様への誇り、家族への感謝をもって仕事できる環境改善と整備
- ・人材教育、キャリア形成と適正な人事考課及び分業の仕組運用
- ・安全第一な職場形成に向けた労働安全衛生教育の強化

2012年 5月 7日 制定日

2019年 6月 1日 改定日

野坂建設株式会社

代表取締役 野坂 輝和

4. 環境経営目標

- ・当社の環境経営目標は、環境負荷の調査結果より以下のような6項目（サブ項目を含めると計14項目）についてサイト区分し、単年度と中長期の目標を設定した。なお、目標設定の基準は2019年度のデータを使用している。
- ・また、本業に係る目標としては、自社の処分場（中間処理施設）での廃棄物処理受入件数を更新していくものとした。

環境目標項目	サイト区分	単位	基準年	単年度目標	中長期目標		
			2019年度 実績値 (2019.6～2020.5)	2020年度 (2020.6～2021.5)	2021年度 (2021.6～2022.5)	2022年度 (2022.6～2023.5)	2023年度 (2023.6～2024.5)
1. 二酸化炭素排出量の削減	破砕施設	kg-CO ₂ /売上高 (万円)		(1%削減)	(2%削減)	(3%削減)	(4%削減)
	全体		17.76	17.58	17.41	17.23	17.06
			8.501	8.416	8.332	8.249	8.166
			232,808	230,480	228,175	225,893	223,634
①電気使用量の削減	事務所	kWh		(1%削減)	(2%削減)	(3%削減)	(4%削減)
			19,203	19,011	18,821	18,633	18,446
②ガソリン使用量の削減	事務所	L		(1%削減)	(2%削減)	(3%削減)	(4%削減)
			7,481	7,406	7,332	7,259	7,186
③軽油使用量の削減	破砕施設	ℓ 搬入量 (t)		(1%削減)	(2%削減)	(3%削減)	(4%削減)
	全体	L	7.86	7.78	7.70	7.63	7.55
			79,579	78,783	77,995	77,215	76,443
2. 廃棄物排出量の削減				(維持)	(維持)	(維持)	(維持)
①一般廃棄物の削減	事務所	kg	126	126	126	126	126
②産業廃棄物(建設廃棄物)の再資源化率向上	現場	%	91.5	91.5	91.5	91.5	91.5
3. 水資源使用量の削減	事務所	m ³	1,012	1,012	1,012	1,012	1,012
4. グリーン購入の推進 (事務用品等)	事務所	品目数	36	31	31	31	31
5. 環境保全活動の実施				(維持)	(維持)	(維持)	(維持)
①地域ボランティア活動への参加	全体	回	4	4	4	4	4
②地域との協働※	全体	回	2	2	2	2	2
6. 地域における住環境の課題解決							
①住宅年間建築棟数	事務所	回	1	6	7	8	9
②廃棄物処理受入件数	破砕施設	件	11,304	11,600	11,900	12,200	12,500

- ※ 備考
- ・二酸化炭素排出量に使用した購入電力の排出係数は、0.613kg-CO₂/kWh（ミツウガ イットル2019年度調整後排出係数）を用いた
 - ・本社移転等外部環境の変化に伴い、基準年を2019年度に変更し目標値も再設定
 - ・化学物質使用量削減の除外理由：自社で購入・使用する化学物質がないため
 - ・サイト区分 事務所：本社事務所・中間処理施設事務所・水巻支店 現場：建築工事現場・土木工事現場 破砕施設：ゆめ環境にある中間処理施設
全体：事務所及び現場及び破砕施設
 - ・（ ）は基準年に対する増減率を示す
 - ・地域との協働※：寄付や町内イベント参加を示す

5. 環境経営計画

・当社としては、設定した環境目標(6項目)を達成するために本社及び福岡県内の現場における事業活動に対して、以下の環境活動を行なっている。各活動の実施状況や環境目標の達成状況については、3カ月に一度EA21委員会にて現状の把握と評価を行なっている。

環境目標項目		サイト区分	環境活動の実施事項	スケジュール
1	二酸化炭素排出量の削減	現場 事務所	①未使用時の電気消灯の徹底	通年
			②電力不要時の負荷遮断	通年
			③節電シール等の表示	通年
			④設備のアイドルングストップ	通年
			⑤残業時間の削減検討	通年
			⑥昼休みの消灯	通年
			⑦LED照明の導入	通年
	②ガソリン使用量の削減 ③軽油使用量の削減	現場 事務所	①「エコドライブ10のすすめ」を車内に掲示	通年
			②アイドルングストップの徹底	通年
			③重機の定期検査	通年
④破碎作業の効率的実施	通年			
⑤破碎機稼働後の清掃	通年			
2	廃棄物排出量の削減	事務所	①廃棄物の分別徹底	通年
			②リユース、リサイクル推進活動の展開	通年
			③排出量の秤量管理	通年
			④5S活動の実施	通年
	②産業廃棄物(建設廃棄物)の再資源化率向上	現場	①廃棄物管理を強化し排出実績を分析	通年
			②分別方法の見直し	通年
			③リサイクル委託先の見直し	通年
			④分別方法の見直し	通年
3	水資源使用量の削減	事務所	①洗浄作業の見直し検討	通年
			②節水コマの取付	通年
			③節水シールの表示	通年
			④中間処理施設内の計画的散水	通年
			⑤調達と利用状況の見直し	通年
4	グリーン購入の推進	事務所	①5S活動による備品の在庫管理徹底	通年
			②購入予定時の調査検討	通年
5	環境保全活動の実施	全体	①自社周辺道路の清掃活動実施	通年
			②地域開催活動・イベント等への参加	通年
			①地域イベントへの協賛や参加	通年
			②地域開催セミナー等での登壇	通年
6	地域における住環境の課題解決	事務所	①モデルハウス建築	通年
			②定期イベントによる集客仕組化	通年
			③住宅仕様の追求	通年
			④HP等メディアでの情報発信	通年
	②廃棄物処理受入件数	事務所	①敷地内より国道に向けての自立看板の設置	通年
			②自社車両の側部に広告設置	通年
			③チラシ配布により集客活動実施	通年
			④既存顧客や新規見込み顧客への訪問営業実施	通年

6. 環境経営目標及び環境経営計画の実績

1) 環境経営目標の達成状況

・2020年度における環境経営目標の達成状況は以下のとおりである。
 ・達成状況としては、二酸化炭素排出量のサブ項目である電気・ガソリン・軽油の削減は未達となった。
 この要因としては、電気については昨年から続くコロナ感染対策として、常に換気扇やエアコンを稼働させていた事が考えられる。

また破碎施設に関しては、近隣同業他社の廃業の影響により、廃棄物受入量・売上の増加に伴い軽油使用量は増えたが、計画的破碎により環境経営目標項目【L/搬入出量(t)】は達成となった。

・会社全体としては、昨年に引き続きコロナウイルスの影響により、住宅事業部の営業活動等ができなかった事が売上減少の一因になったと推察される。

環境経営目標項目	サイト区分	単位	基準年 2019年度 実績値 (2019.6~ 2020.5)	2020年度 (2020.6~2021.5)		環境 目標 達成率	判定	
				目標値	実績値			
1. 二酸化炭素排出量の削減	破碎施設	kg-CO ₂ /売上 高(万円)	17.76	17.58	18.63	94.4%	△	
			8.501	8.416	11.32	74.3%	×	
	全体	kg-CO ₂	232,808	230,480	282,831	81.5%	△	
	①電気使用量の削減	事務所	kWh	19,203	19,011	21,770	87.3%	△
	②ガソリン使用量の削減	事務所	L	7,481	7,406	8,092	91.5%	△
	③軽油使用量の削減	破碎施設	L/ 搬入出量(t)	7.86	7.78	7.75	100.4%	○
L			79,579	78,783	97,176	81.1%	△	
2. 廃棄物排出量の削減								
①一般廃棄物の削減	事務所	kg	126	126	115	109.6%	○	
②産業廃棄物(建設廃棄物)の再資源化率向上	現場	%	91.5	91.5	86.4	94.4%	△	
3. 水資源使用量の削減	事務所	m ³	1,012	1,012	1,283	78.9%	×	
4. グリーン購入の推進 (事務用品等)	事務所	品目数	31	31	36	116.1%	○	
5. 環境保全活動の実施								
①地域ボランティア活動への参加	全体	回	4	4	3	75.0%	×	
②地域との協働※	全体	回	2	2	4	200.0%	◎	
6. 地域における住環境の課題解決								
①住宅年間建築棟数	事務所	回	1	6	1	16.7%	×	
②廃棄物処理受入件数	破碎施設	件	11,304	11,600	16,786	144.7%	◎	

・ 目標達成率の計算 削減目標の場合: 目標÷実績×100

増加目標の場合: 実績÷目標×100

・ 判定区分 ◎: 目標達成率120%以上 ○: 100~120% △: 80~100% ×: 80%以下 -: 判定不可

※ 地域との協働: 寄付・町内活動外

・ サイト区分 事務所: 本社事務所・中間処理施設事務所・水巻支店 現場: 建築工事現場・土木工事現場 破碎施設: ゆめ環境にある中間処理施設
 全体: 事務所及び現場及び破碎施設

2) 環境経営計画の実施状況とその評価

① 二酸化炭素排出量の削減

< 電気使用量の削減 >

No	環境活動項目	取組状況			
		6-8	9-11	12-2	3-5
①	未使用時の電気消灯の徹底	△	△	△	△
②	電力不要時の負荷遮断	○	○	○	○
③	節電シール等の表示	△	△	△	△
④	設備のアイドリングストップ	△	△	△	△
⑤	残業時間の削減検討	—	—	△	△
⑥	昼休みの消灯	△	△	△	△
⑦	LED照明の導入	—	—	○	—

※取組状況 ○:(定着)よく実行されている ○:実行されている △:一部実行されている
×:実行されていない —:判定不可

(現状)

- ・ コロナ感染対策等の為難しさもあるが、節電に意識を向けている。

(今後)

- ・ 今後も継続していく。

< ガソリン・軽油削減 >

No	環境活動項目	取組状況			
		6-8	9-11	12-2	3-5
①	「エコドライブ10のすすめ」を車内に掲示	○	○	○	○
②	アイドリングストップの徹底	○	○	○	○
③	重機の定期検査	◎	◎	◎	◎
④	破碎作業の効率的実施	○	○	○	○
⑤	破碎機稼働後の清掃	△	△	△	△

(現状)

- ・ 猛暑もあり、エアコンは適切に使用しているが、可能な限りエコドライブ等の機能を利用している。

(今後)

- ・ 今後も継続していく。

②廃棄物排出量の削減

＜一般廃棄物の削減・産業廃棄物(建設廃棄物)の再資源化率向上＞

No	環境活動項目	取組状況			
		6-8	9-11	12-2	3-5
①	廃棄物の分別徹底	○	○	○	○
②	リユース、リサイクル推進活動の展開	×	×	△	△
③	排出量の秤量管理	○	○	○	○
④	5S活動の実施	△	△	△	△
⑤	廃棄物管理を強化し排出実績を分析	△	△	△	△
⑥	分別方法の見直し	△	△	△	△
⑦	リサイクル委託先の見直し	△	△	△	△

(現状)

- ・ 事務所での廃棄物の削減(OA用紙の裏紙使用により)は引き続き出来ている。
- ・ 有価ではないが、再資源化してくれる古紙回収業者に依頼し、紙類の廃棄を減らしている。

(今後)

- ・ 廃棄物分別を徹底し、計量を細めに行い廃棄量の把握に努める。
- ・ 引き続き、協力業者、下請け業者にも分別意識の周知徹底を図っていく。

③水資源使用量の削減

No	環境活動項目	取組状況			
		6-8	9-11	12-2	3-5
①	洗浄作業の見直し検討	△	△	△	△
②	節水コマの取付	—	—	—	—
③	節水シールの表示	—	—	—	—
④	中間処理施設の計画的散水	○	○	○	○
⑤	調達と利用状況の見直し	○	○	○	○

(現状)

- ・ 日々計画的散水に努めているが、閑散期の受入れ量増加に加え、猛暑でもあった為飛散・火災防止の為昨年より使用量が増えている。
- ・ 井戸の掘削を検討したが、土地所有者より理解が得られそうになく、費用も嵩む為現時点では断念した。

(今後)

- ・ 作業上散水は必要不可欠なので、今後も取組を引き続き継続していく。
- ・ 目標を、単なる使用量から、廃棄物受入量(t)当たりの使用量に変更し、今後の推移を見守る。

④グリーン購入の推進

No	環境活動項目	取組状況			
		6-8	9-11	12-2	3-5
①	5S活動による備品の在庫管理徹底	○	○	○	○
②	購入予定時の調査検討	○	○	○	○

(現状)

- ・新規購入の際は、対象商品であるかチェックし、目標を達成している。

(今後)

- ・引き続き継続していく。

⑤環境保全活動の実施

＜地域ボランティア活動への参加・地域との協働＞

No	環境活動項目	取組状況			
		6-8	9-11	12-2	3-5
①	自宅周辺道路の清掃活動実施	○	—	—	—
②	地域開催活動・イベント等への参加	—	○	—	○
③	地域イベントへの協賛や参加	○	○	—	—
④	地域開催セミナー等での登壇	—	—	○	—

(現状)

- ・コロナウィルス感染防止により、今まで行われていた行事がすべて取りやめとなり、活動できなかった。
- ・行事はなかったが、寄付や募金等の支援を行った。

(今後)

- ・ウィズコロナの取組を考えていきたい。

⑥地域における住環境の課題解決

＜住宅年間建築棟数・廃棄物処理受入件数＞

No	環境活動項目	取組状況			
		6-8	9-11	12-2	3-5
①	モデルハウス建築	○	—	—	—
②	定期イベントによる集客仕組化	○	○	○	○
③	住宅仕様の追求	○	○	○	○
④	HP等メディアでの情報発信	○	○	○	○
⑤	敷地内により国道に向けての自立看板の設置	—	—	—	—
⑥	自社車両の側部に広告	—	—	—	○
⑦	チラシ配布により集客活動実施	—	—	—	○
⑧	既存顧客や新規見込み顧客への訪問営業実施	—	—	—	○

(現状)

- ・コロナ禍においても、感染対策を確実にいき、少人数でのイベント等を行った。

(今後)

- ・できる事をこれからも引き続き継続していく。

7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに 違反、訴訟等の有無

- ・2020年度の事業活動については、環境関連法規を適正に遵守していることを確認し、違反はなかった。
- ・また、関係機関からの違反の指摘、利害関係者からのクレームや訴訟も過去3年間なかった。

環 境 関 連 法 規 等 一 覧

- ・浄化槽法
- ・騒音規制法
- ・振動規制法
- ・廃棄物の処理及び清掃に関する法律
(廃棄物処理法)
- ・資源の有効な利用の促進に関する法律
(リサイクル法)
- ・特定家庭用機器再商品化等の促進に関する法律
(家電リサイクル法)
- ・使用済自動車の再資源化等に関する法律
(自動車リサイクル法)
- ・建設リサイクル法
- ・計量法
- ・オフロード法
- ・国等による環境物品の調達の推進等に関する法律
(グリーン購入法)
- ・地球温暖化対策の推進に関する法律
(温対法)

自 治 体 の 環 境 関 連 条 例

- ・生活環境保全条例
- ・森林環境税条例

そ の 他 の 環 境 関 連 規 制

- ・福岡県北九州土木事務所

8. 代表者による全体評価と見直し・指示

2020.6～2021.5

1) 総評

- ・ 2020年の2月頃から新型コロナウイルス感染症が世界中に蔓延し、私たちの事業活動や、これまでの価値観に大きな影響が出ました。しかし、新しいガイドラインへの移行に向けて、前向きに活動を促してきた委員会組織メンバーと全社員の協力のお陰で、感染防止対策を次々に実行し、事業活動を止めることなく、2020年度をスタートできたことを安堵し、感謝しています。
- ・ 2020年度の前半は中長期を視野に入れて、売上に直結する建築棟数や、廃棄物の受入件数を重点目標にし、3ヵ月ごとのPDCAサイクルを委員会メンバーと部門リーダーの協力で回していく様子が見られ、組織的に活動している姿が見られました。
- ・ 新型コロナウイルス対策も定着し非接触型の営業活動や、リモートワーク等感染対策を行い、時流に沿った新しい事業活動の形に変化しても、環境に配慮することを忘れず、全社員が目標に向かって努力してくれました。
- ・ 環境事業部については改めて、緊急時には地域から必要とされる業務を行っている、エッセンシャルワーカーとしての役割を担っている事を再確認しましたし、建設業についてはより持続可能な建物の追求が進みました。ビジョンから事業をアプローチする事はこれからもなんら変わりませんが、リスクからのアプローチも視野に入れて進めていきます。

2) 運用結果の評価と見直し結果

- ・ 全体的な二酸化炭素排出量の目標達成率について、廃棄物搬入出量増加に伴う重機操作による燃料使用量及び場内散水の増加が未達の主な要因と考えられ、コロナによる巣ごもり需要の影響が考えられます。住宅事業部もコロナの影響で思うような成果が出ませんでした。コロナ禍でもお客様の信頼を落とさず、売上目標達成の為に人員を投入しますので、営業活動を積極的に行い、建築棟数を増やしていくよう努力してほしいと考えます。水使用量については、目標を使用量から m^3/t (搬入量)に変更します。

昨年度見直し項目

- ①環境経営方針について・・「環境経営の継続的改善の誓約」を追加。2021.6
- ②自社メニューの作成・・自己チェック表を利用し、チェックを行ったが、メニュー表の作成は次年度へ。
- ③問題点の是正基準の明確化と運用の仕組みづくり・・目標達成率を90%と定め、未達の場合は、担当部署の責任において是正策を検討し、委員会に提案する。
- ④新ガイドラインが求める環境経営レポートづくり・・・取組情報(写真等)、次年度の環境経営目標及び環境経営計画の追加は次年度までに追加する。

3) 今後の課題

本年度見直し項目

- ① 社内の個々の能力と組織力の向上に伴い、EA21委員会委員長の以下の権限を新たに付与する。
・研修費用決裁権・委員の評価基準の設定とその評価・報奨制度の運用権
- ② 小型発電設備の設置検証(散水時電力削減の為)
- ③ DXによる社用での移動時間の削減
- ④ カーボンオフセット
 - 1. 遠賀中間広域事務組合の業務受託により費用だけではなく温室効果ガス削減効果の見える化
 - 2. 取り残されない家 2013年度比で温室効果ガス削減効果の算出